

富岡 公子

奈良県立医科大学地域健康医学教室 助教

高齢者の聴力障害と認知機能・うつ症状との関連

聴力障害は QOL や精神機能などに影響している可能性があるが、日本では本分野の研究が乏しい。今回、地域高齢者を対象に聴覚的コミュニケーション障害が心身の健康に及ぼす影響について検討した。

聴覚的コミュニケーション障害は Hearing Handicap for the Elderly-Screening version 日本語版を用いて評価した。多重ロジスティック回帰分析の結果、聴覚的コミュニケーション障害は、抑うつ傾向あり、健康関連 QOL の低下、生活機能の低下、身体活動レベルの低下、精神的回復力の低下、首尾一貫感覚の低下、主観的幸福感の低下、および孤独感が強いと有意な関連が認められたが、認知機能と歩行時間とは関連がなかった。

以上から、地域高齢者の聴力障害によるコミュニケーション障害は、精神機能、QOL、生活機能、身体活動、ストレス対処能力そして主観的幸福・孤独感に悪影響を及ぼしており、高齢者の聴力障害の予防および対策を講じる必要が示唆された。